

EPA メール本文：
米国および EU による協力協定の延長（2011 年 12 月 5 日）

====EPA メール概要和訳=====

ENERGY STAR 画像機器パートナー各位

- 既に知られているとおり、米国と欧州連合は、オフィス機器に関する ENERGY STAR プログラムの二国間協定を締結している。
- 本協定は、オフィス機器に関する統合化された ENERGY STAR 要件に協力して取り組み、これを利用するという、両国の責務を表すものである。
- 2000 年から施行されてきた現行の本協定は、2011 年 12 月に有効期限を迎える予定である。
- 本協定がオフィス機器のパートナーにもたらす重要な価値を認識し、EPA は、次期 5 年間を対象とした本協定の更新に関する交渉が完了したことを通知する。
- 2011 年 11 月 29 日、米国 EPA 長官の Jackson と EU エネルギー長官の Oettinger は、EU 加盟国の同意を得る前に、本協定への仮調印を行った。
- EPA は、本件に関する事務的な処理が 2012 年前半に完了することを期待している。
- 新規協定は、コンピュータ、画像機器、ディスプレイ、およびサーバーに対する協調を継続するものであり、また業務用ストレージ、小型ネットワーク機器、および無停電電源装置の ENERGY STAR 基準策定が完了した際には、これら品目について更新される予定である。
- この二国間協力の成功は特別なものであり、エネルギー消費効率の優れたオフィス機器を開発し販売するという、パートナーの継続的な取り組みの証しである。
- 試算によると、オフィス機器に関する米国 ENERGY STAR プログラムは、過去 5 年間で 223 TWh を超える消費エネルギーの削減と 220 億ドルの光熱費削減をもたらした。
- EU 市場については、試算によると、オフィス機器に関する EU の ENERGY STAR プログラムは、過去 3 年間で 10 TWh を超える消費エネルギーの削減と 20 億ユーロの光熱費削減をもたらした。
- ENERGY STAR プログラムへの継続的な支援に感謝する。

=====